

秋田工業高校の近況

秋田県立秋田工業高等学校

校長

佐藤 隆史

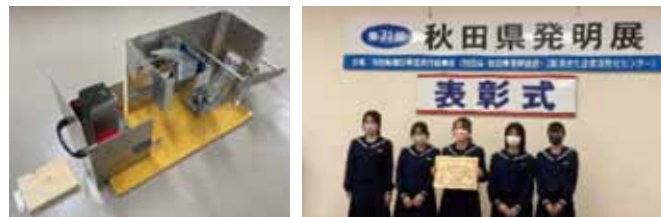


東京秋工会の皆様には日頃より本校の教育活動の充実、発展のため、物心両面にわたる温かい御支援を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。また、昨年7月3日に開催されました〈金砂健児の集い〉では、母校への励ましの声をたくさんいただきましたことに重ねて感謝申し上げます。母校への熱い思いと、「質実剛健」の校訓の下、金砂の地で結ばれた縦と横の絆は、他に類を見ないほど強力であると感じた次第です。

さて、昨年度、運動部において特筆すべきは、やはり陸上競技部の大野君の活躍です。インターハイ、国体と高校3冠に輝き、U20五輪育成競技者に選出されました。3月には県で最も権威のある「人見スポーツ賞」を受賞しています。また、年末年始のスポーツ全国大会では、陸上競技部が10年連続の全国駅伝大会出場を達成し、開会式で全国高体連より表彰を受けました。駅伝というシビアな競技で勝ち続けることは至難の業ですが、次は20連覇を目指して襷を繋げてほしいと思います。ラグビー部は3回戦で優勝校に敗れてベスト16でした。特に意地とプライドをかけチーム一丸となって戦った1回戦は、大きな感動を与えてくれました。王座奪回へ大きな一歩を踏み出したのではないのでしょうか。他の部活動の活躍も枚挙にいとまがありませんが、本校の存在は秋田の高校スポーツの推進力となっているものと確信しております。

文化部では、吹奏楽部が東北を代表してマーチングバンド全国大会に出場し、さいたまスーパーアリーナで躍動感溢れる演舞を披露しました。また、ものづくりコンテスト「電気工事部門」では、全国優勝者に僅差の3位というすばらしい結果

を残しました。そしてメカクラブ特別活動班が製作した「牛乳パック切断装置」は特許登録され、秋田県発明展において秋田県知事賞を受賞しております。



進路状況については、就職が全体の約55%、進学が約45%と例年になく進学が増えたのが昨年度の大きな特徴でした。就職者のうち、公務員を含めた県内就職が約60%と昨年に引き続き過半数を超えました。やはり、コロナ禍が進路選択に影響を及ぼしているのかなと思っています。この春、首都圏への就職者は22名です。明日の日本の工業界を担う存在でありますので、どうか御指導の程よろしくお願いいたします。

話は変わりますが、本校生徒5名が下校時に高齢者の人命救助に携わり、秋田中央警察署長より感謝状を授与されました。まさに賞賛されるべき尊い行為だと思います。「ものづくりは人づくり」とよく言われますが、ものを大事にすることで人を大事にする心が育ち、きれいに磨くことで心も磨かれます。工業教育が人格形成や健全育成をも担ってきたことに誇りを感じている次第です。

生徒たちは朝早くから放課後まで一生懸命に、勉学、部活動、資格取得、等々に励んでいます。「人が環境をつくり、環境が人をつくる」という言葉がありますように、この全国屈指の教育環境と、高い志を持った仲間との競い合い・励まし合いが、生徒の能力を高めています。来年、創立120周年を迎えるこの金砂の地が、成長の場であり続けますよう、生徒・職員一同研鑽に励んで参ります。引き続き、皆様の御支援、御協力をお願い申し上げますとともに、東京秋工会の益々の御発展を心より御祈念申し上げます。



不動産・建設関連事業を核に
お客様が求めるビジネス&ライフを
サポートします。

合同会社 アーバン・コンサルタント

代表 三平 俊悦 (昭和39年建築科卒)
Shunetsu Mihira

〒216-0035 川崎市宮前区馬綱6-26-28 TEL/FAX.044-852-0891
携帯.090-6930-1389 E-mail shunmihira1945@gmail.com

宅地建物取引士・管理業務主任者・二級建築士・リスクマネジメント協会RMF資格